

3月3日はひな祭りです。ひな祭りでは一般的に白酒が飲まれますが、現代では子供が飲めるようにと米麹から作る「甘酒」が飲まれるようになったといわれています。「甘酒」にはブドウ糖とオリゴ糖などの栄養素がたっぷり含まれている発酵食品で、美容や健康に効果があるそうなので日常の生活にも取り入れたいものです。



コロナ禍を受けて緊急調査

一戸建て検討者に、マンションからの くら替え層が3割出現

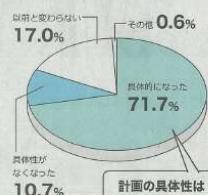
一戸建ての検討者のうち、購入検討の優先順位をマンションから戸建て住宅にくら替えした人が35.7%もいた(Q1)。

在宅時間が増え、家庭内で家について話す時間が増えたことで、広い戸建て住宅に検討変更する人も増えていると思われる(Q2)。

また計画がより具体化した人が全体の7割を超え、以前と変わらないと回答した人も17%いる(Q3)。

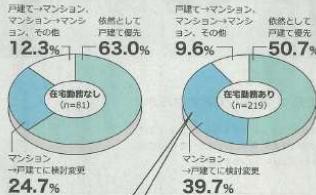
コロナ禍で検討意欲が落ちているわけではなさそうだ。

Q3 コロナ前と比較して、一戸建て住宅の建替え・新築を検討するのに計画的具体性は変わりましたか？



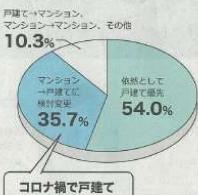
一戸建て住宅の建替え・新築に対する意欲が変わった人の割合は71.7%、計画的具体性が変わった人の割合は17.0%、計画的具体性が変わらなかった人の割合は10.7%でした。

Q2 コロナ前と比較して、一戸建て住宅の建替え・新築に対する考え方は変わりましたか？(在宅勤務経験の有無別)



マンションから戸建てへと検討変更した人は、在宅勤務経験のある方が多い傾向にあります。

Q1 コロナ前と比較して、一戸建て住宅の建替え・新築に対する考え方は変わりましたか？(全)



35.7%が「戸建て優先」から「マンション優先」へと変わった人が多い一方で、「マンション→戸建て・検討変更」という回答が「戸建て優先」で最も多くなっています。

2021年1月1日 日本経済新聞より

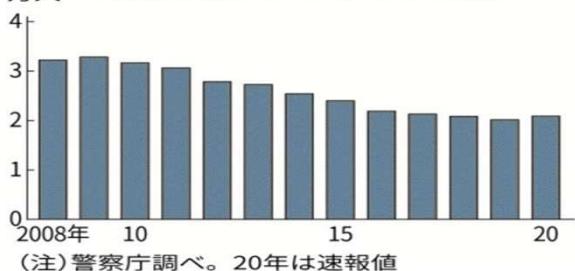
三成 哲也の

今月のクローズアップ

孤独対策 コロナ下で急務

QSS通信6月号でテレワークのメリットデメリットの検証で、デメリットの1番に「同僚と話す時間が減る」⇒「孤独に陥りやすい」をあげましたが、まさにそのことが国会で取り上げられているようです。

自殺者数は11年ぶりに増加



新型コロナウィルスの感染拡大で外出自粛が長引き、社会や他人との接点が少なくなる孤独問題が深刻になってきた。若者の自殺や高齢者の孤独死なども増えており、政府が対応を迫られる情勢となっている。

菅首相は2月4日の衆院予算委員会で「社会的孤立を防ぐため関係省庁が連携する体制を検討していかないと」と述べ、省庁横断による連絡会議の設置を検討する方針を明らかにした。

孤独を巡る問題は多岐にわたる。コロナ禍での外出自粛や失業、休校など様々なことが孤独の要因となる。若者や高齢者といった特定の世代や特定の収入層に限った話ではない。

「家で過ごす時間は増えたが、家族と心を通わすことが出来ず居場所がない」「大学入学後もオンライン授業が続いて友人やコミュニティから隔離されている」などいろいろな孤独の事例があがる。

この「孤独問題」にもまして懸念されているのは自殺者だ。20年の自殺者数はリーマン・ショック後の09年以来11年ぶりに増加に転じた。速報値で前年に比べて3.7%増の2万919人だった。女性が2年ぶりに増え、足元では20代や19歳以下の伸び率も目立つという。

では弊社の取り組みはどうか。

弊社では、昨年発令された緊急事態宣言下では、テレワーク・時差出勤等を推奨し、不要不急の外出は極力減らし、許可制とした。今回の発令下では、同様の措置はとるが、テレワークに関しては本人からの申告制とした。感染防止対策を徹底し、自己の体調管理を徹底すれば、そういう感染はないだろうとの判断からだ。決して緩んだわけではない。毎朝の消毒は昨年以上に時間をかけた。外出は当然許可制とし、終業後の会食等においても自粛を周知徹底した。決して孤独問題を睨んでの対策ではない。

いよいよ17日からワクチンの接種が始まった。夏までには全国民にいき渡り、ビール片手にオリンピック観戦ができるようになります。